



大河原 千晶 議員

Chiaki Okawara



YouTube



学校給食に関する 課題について

▶最低限の給食水準は維持

Q 給食無償化にあたり、財源や給食の質はどう確保するのか。

A 国・県の交付金を活用し、不足分は市が全額負担。令和8年度は小学校月額5,670円、中学校6,670円へ食材費を引き上げ、給食水準の維持に努める。

Q 私立・市外校やアレルギー・不登校の子どもは対象外となるが、公平性はどう考えるか。

A 現時点では市立小中学校の在籍児童・生徒のみが対象。対象拡充は近隣自治体の動向を注視しながら慎重に検討。アレルギー・不登校児への補助も検討中。

Q 添加物はミネラルを消費し栄養を損なう。給食費を上げて、出汁や調味料の質が伴わなければ意味がない。給食センターの対応は。

A 和食の汁物には化学調味料不使用の天然かつおぶしだしパックを使用。うまみを生かすことで減塩にもつながっている。

Q きっしょく 喫食時間15~20分は短すぎないか。

A 適切な食習慣を身につける環境のあり方は、今後も注視すべき重要な要素と考えている。給食時間の設定は各校長の裁量による。



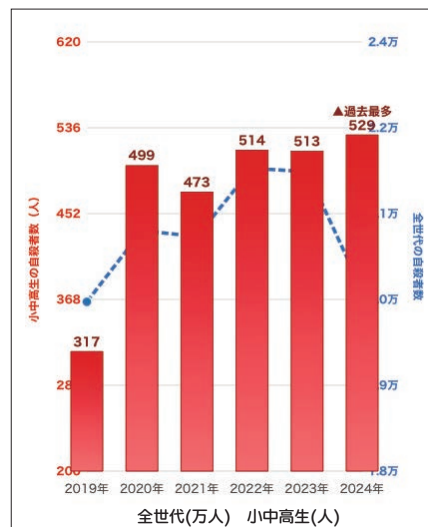
天然だしパックで出汁をとる様子



子どもの自殺対策について

Q 小中高生の自殺者数が2年連続で過去最多。市の認識と対策は。

A 重大かつ深刻な問題と強く認識している。スクールカウンセラー等との連携、SOSの出し方に関する教育、ゲートキーパー養成講座などに取り組む。起こさないために何ができるかという視点で体制を継続的に見直す。



自殺統計グラフ



永井 孝叔 議員
Takayoshi Nagai



11 新産業団地開発とスマートインターチェンジの設置について

Q 新産業団地の整備に関する要望書を提出するが、今後の開発スケジュール及び企業立地優遇制度拡充の考えは。

A 令和7年度末までに県に対し開発要望書を提出予定。令和8年度に調査主体決定後、基礎調査を行い、令和9年度頃に開発主体が決定しそこで開発に必要な具体的スケジュールが策定される。企業立地優遇制度は企業誘致の推進を図るため、条例に基づく奨励金を交付している。地域経済の活性化と定住促進のため、企業ニーズや他市状況を把握し、実効性のある雇用支援策の導入を調査検討する。



新規産業団地候補地

Q スマートインターチェンジ設置の進捗状況は。
A 令和8年度に相談会や勉強会が開催できるよう関係機関と協議し、国が実施する準備段階調査の採択を目標に取り組む。

その他の質問
◆いじめ対策について

8 物価高対策について

▶物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用

Q 物価高に苦しむ市民や事業者に対し、どのような支援をするのか。
A 全市民に対しては、地元応援商品券の配布。子育て中の家庭支援としては、小中学校給食の無償化。事業者支援としては、光熱費等の助成事業。今後も国の交付金等を本市財源に有効に取り入れられるよう情報収集に努める。

Q 「消防団の力向上モデル事業」を活用し団の機能充実と強化に取り組む考えは。

A 上限500万で事業費全額を消防庁が負担。消防団の装備を向上させる事業があれば積極的に活用したい。



消防団の力向上モデル事業

Q 市水道を利用する一般家庭と事業者を対象に、水道基本料減免の考えは。

A 水道料金の補助は検討したが、今回は見送った。今後はどういったことができるか検討していかなければならない。



加藤 朋子 議員
Tomoko Kato



11 人口減少に歯止めをかけるには

▶本市にどのような取組が可能か研究していく

Q 女性活躍のために、女性IT人材の育成に努めては。

A 女性が在宅で仕事をして活躍できれば、地位向上にも繋がると考える。積極的に研究を進めたい。



栃木県・女性デジタル人材育成・活躍支援事業

Q 晩婚化対策は。

A 新年度、ふるさと回帰の同窓会開催助成事業を展開する。
さくら市ホームページ



Q 入園、入学支援金等、市独自の子育て支援金制度の可能性は。

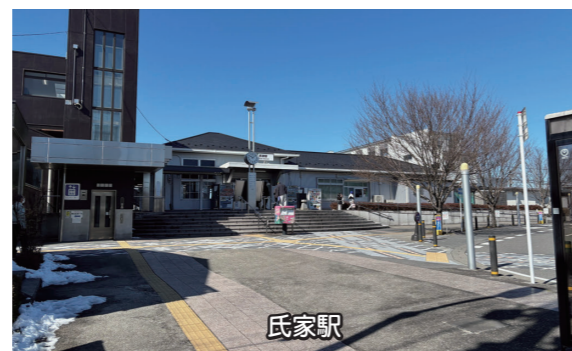
A 物入りの時期の経済的支援は、一定の効果があると考えられる。また、入学のタイミングで自宅を構えるなど、本市への移住や定住のきっかけとなることも期待されることから調査研究を進めたい。

Q 空き家は年々増加し、防災、防犯、景観上の課題となる一方で、若い世代にとっては価格、立地、質の面で選びやすい住宅ストックでもある。空き家を利活用した定住施策は。

A 令和8年度から、子育て世代が空き家等情報バンクを利用して、空き家を購入・リフォームする場合、上限100万円で費用の3分の2を補助する。立地適正化計画の居住誘導区域には市独自として上限20万円の加算をする。

Q 氏家駅舎橋上化等のインフラ整備は。

A 多額の費用がかかるため、橋上化ではなく、氏家駅東地区のまちづくり基本計画を進めて、玄関である氏家駅を生かした市街地の再生を目指したい。



氏家駅

Q 関係人口・二地域居住を増やす施策は。

A 移住フェアなどのイベントに積極的に参加している。特に農業関係のイベントの関心が高い。本市は都会から新幹線で1時間圏内という利便性、自然環境にも恵まれており、「ちょうどいいさくら市」をPRしていきたい。



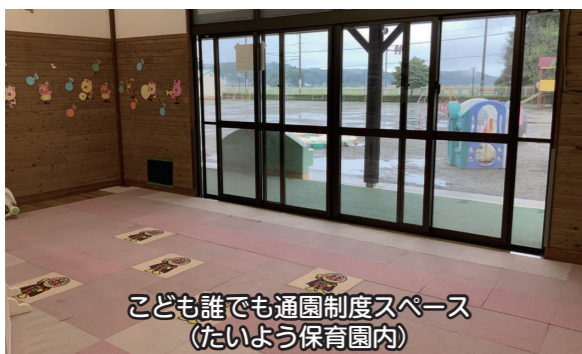
落合 千枝子 議員
Chieko Ochiai



3 子育て支援について

▶ 財源の確保など中長期的な取り組みが必要

- Q こども誰でも通園制度の成果と課題は。
A 令和8年2月末現在、利用者21名、延べ利用回数123回、利用総時間は317時間。これまでの利用者への周知の他に、関係部署と連携し、制度内容の丁寧な説明と周知方法の工夫に努めていく。



こども誰でも通園制度スペース (たいよう保育園内)

- Q 全天候型屋内子育て施設の新設の考えは。
A こども達が安全に遊び、学び、他の子どもと交流できる場を提供することは、子育て支援に必要であると認識しているが、整備、運営方法、財源の確保など、他の自治体を参考にしながら、今後、調査研究を行っていく。

- Q 公園内遊具などの維持管理体制は。
A 市が管理する遊具は、大小70の公園に100基あり都市公園法に基づき、年1回の法定点検を実施し、状況に応じて修繕等を行っている。

2 農業について

- Q 農業生産者とは、どのような生産者か。また、具体的な支援策は。

- A 農産物を生産、販売し農業の税申告をしている農業者、認定農業者、新規就農者、認定新規就農者、農業者団体、農業生産法人を農業生産者としている。令和8年度から「稼げる農業」を推進するために産直のECサイト(ネットショップ)開設や、モール型ECサイトへの出店、イベント・マルシェ等への参加経費を補助する。

- Q 生分解マルチ等の購入に対する補助の詳細は。
A 農産物販売金額が10万円以上の農産物販売農家などを対象として費用の2分の1を補助する。

- Q 田んぼダムに対する市の認識は。
A 本市では実績がないが、地域の持続性、協働力向上のため、国・県、農業関連団体と連携を図り推進していく。



若見 孝信 議員
Takanobu Wakami



4 学校給食センターの運営状況について

▶ 「おいしさ」「量」「温かさ」のアンケートを実施した

- Q 稼働してからの現状と評価は。
A 稼働開始当初には、一部の献立で配食量や味つけにばらつきが見られた。栄養教諭と調理員が連携し、献立内容や調理工程の検証を行い、出汁の取り方の見直しや水分量の調整など、具体的な改善を重ねた。評価については、令和7年10月に児童生徒、教職員を対象にアンケートを実施。



- Q アンケート方法は。
A タブレットによる児童生徒・教職員のアンケートでは、給食の「おいしさ」「量」「温かさ」などについて意見を把握した。複数の指標を総合的に捉えた上で評価し、今後も定期的実施し、継続的な改善につなげていく。

- Q 給食における地元の食材の使用率、重量ベースとカロリーベースについては。
A 地元食材の使用率は、カロリーベースでの集計はしておらず、重量ベースで毎年度把握している。開設後、昨年9月から12月までの4か月の使用率は54%となっている。

8 さくら地元応援商品券について

- Q 総額5,000円のうち2,000円分は共通券として、3,000円分は専用券として大型店以外の店で使用可能となっている理由は。

- A 専用券を設けることで、地域の商店街や事業者への消費を誘導し、地域経済を支える制度設計とした。共通券の上限を2,000円とした理由は、生活者の利便性と地元商店や事業所への支援効果のバランスを慎重に検討した。

- Q ポイント還元方式ではなく、商品券による全世帯配布の選択をした狙いは。

- A 物価高騰に直面する全ての市民に対し、生活支援を最優先の目的として、ポイント還元方式ではなく、全世帯に確実に届ける商品券の手法を選択した。



さくら市議会 議員全体研修会



詳細はこちら

日時 令和8年1月19日(月)~20日(火)

茨城県古河市

「公共施設等総合管理計画の取り組みについて」

公共施設等総合管理計画に基づき策定された古河市公共施設適正化計画に沿って、老朽化が進んだ旧総和町にあった中央公民館・さくら公民館・ふれあい公民館・勤労青年少年ホーム・働く女性の家の4施設を廃止し、地域の魅力・地域文化の継承・新たな地域活力の創造をテーマに古河市総和地域交流センターが建設されました。



古河市総和地域交流センター

感想

施設は様々な市民活動が行える空間を多く備え、また気軽に訪れやすい空間が演出されており、地域のランドマークとなる施設であると感じました。氏家駅東地区整備計画においても取り組みたい事業であると感じました。



埼玉県加須市

「地域の歴史遺産や文化財について」



十六間筋兜



騎西城 (加須市ホームページより)

加須市にある郷土史料展示室(騎西城)は昭和50年に婦人会館として建てられました。現在は市指定有形文化財である「十六間筋兜」等の郷土史料の展示室として歴史文化啓発の一端を担っています。

感想

「十六間筋兜」からは戦国武者の息吹が感じられました。また史料がコンパクトに展示され、歴史ファンにも人気があるとのことでした。天守閣(3階)から市街地が一望でき、家族連れが気軽に立ち寄れる場所でした。

議会のいろは

議会用語をわかりやすく解説します

今号は「予算審議」特集号。市議会では毎年3月、翌年度の予算を審議します。予算にまつわる言葉は難しそうに見えますが、実は市民の暮らしに直結するものばかり。この機会にぜひふれてみてください。

1 当初予算・補正予算

年度途中で予算が変わるのはなぜ？

当初予算とは

年度の始まり(4月)に向けて、その年に使うお金の計画を立てたものが「当初予算」です。さくら市では毎年3月の定例会で審議・議決されます。



補正予算とは

年度の途中で、予想外の出来事(災害・物価高騰・国の新制度など)が起きたとき、当初の計画を変更するために組む予算です。緊急の場合は臨時議会を開くこともあります。



給食費無償化のような国の新制度が決まると、補正予算で対応することがあります。予算は「生き物」で、市民生活の変化に合わせて柔軟に対応しています。

2 一般会計・特別会計・企業会計

会計の種類はなぜ分かれているの？

一般会計とは

市の基本的な行政サービス(教育・福祉・道路整備など)を担う、いわば「メインの家計簿」です。税金や国・県からの交付金などが主な財源で、市の予算の中心となります。

特別会計・企業会計とは

国民健康保健・介護保険などは「特別会計」、水道・下水道など独立採算で運営される事業は「企業会計」として、それぞれ一般会計とは別に管理されます。



国保料や水道料金が値上がりする際、「赤字だから」と説明されることがあります。これらは一般会計とは別に管理されており、税金で補填するには議会の議決が必要です。

3 財政調整基金

市の「貯金箱」ってどんなもの？

財政調整基金とは

税収が予想より少なかったときや、大きな災害・緊急事態が起きたときに備えて積み立てておく、市の「貯金」です。家計でいえば「いざというときの預金」にあたります。景気がよく税収が多い年に積み立て、必要なときに取り崩して使います。



基金が多すぎると「貯め込みすぎ」、少なすぎると「いざというときに対応できない」と批判されます。議会では「適正な残高はいくらか」も重要な論点のひとつです。さくら市の基金残高は毎年の予算書で確認できます。

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

「早乙女桜並木の整備について」

令和7年 第2回定例会
令和3年 第1回定例会

どうなったんべあの質問は



早乙女の桜並木は、1925年、当時の青年団が県道の整備に合わせ100本のソメイヨシノを植栽し、長く、喜連川の桜といえば早乙女の桜並木を思い起こさせるほど、地域のシンボルとして、愛されてきました。しかし、てんぐ巣病に罹るなど、晩年は樹勢の衰えが目立ち、枝の落下が多発し、車道を通行する方にも支障を及ぼすような状態でした。また、道路の斜面に植えられていたため、維持管理上においても作業が難しく、なにより桜自身にとっても過酷な生育環境であったと言えます。



市は栃木県と協議を重ね、県道の歩道整備に合わせ、出来る限り桜の生育に配慮した植樹帯を設け、新たにてんぐ巣病に強いとされる桜(ジンダイアケボノ)を104本植栽し、将来のシンボルロードとなるような「早乙女桜並木再整備事業」を進めることになりました。この事業は令和2年度に開始し、令和8年度末に完了予定です。整備後には歩道や駐車場も新たに設けられ、市内外の皆様がより安全・快適に桜並木を楽しめる環境が整う予定です。また、伐採した桜(ソメイヨシノ)はボールペングリップやタンブラー、お箸などに加工され、皆さまと共に100年の歴史を感じながら末永く愛用してもらえるような記念品に生まれ変わっています。



整備前の桜並木



伐採木加工品



さくら市ホームページ

● 議会レポート

関東市議会議長会
支部長会議
1月27日～28日
・岡村 浩雅 議長

塩谷市町村議会議長会
行政懇談会
1月29日
・岡村 浩雅 議長
・加藤 誠一 副議長
・落合千枝子 議員
・高瀬 一徳 議員
・吉田 雄次 議員
・大河原千晶 議員
・福田 克之 議員
・加藤 朋子 議員
・永井 孝叔 議員
・若見 孝信 議員
・石岡 祐二 議員
・渋井 康男 議員
・鈴木 恒充 議員
・角田 憲治 議員
・手塚 定 議員
・小堀 勇人 議員
・矢澤 功 議員

栃木県市議会議長会
職員実務研修
2月3日
・岡村 浩雅 議長

全国市議会議長会理事会・
全国市議会議員互助会
議員会
2月4日
・岡村 浩雅 議長

県北五市議長会議
2月13日
・岡村 浩雅 議長
・加藤 誠一 副議長

栃木県中央6市議長会議
2月17日
・岡村 浩雅 議長

栃木県市町村総合事務
組合3月定例会
3月19日
・岡村 浩雅 議長

栃木県市議会議長会
事務局長会議
3月26日
・岡村 浩雅 議長

各種委員会等出席
●表彰審査委員会
1月16日
・岡村 浩雅 議長
・加藤 誠一 副議長
・石岡 祐二 議員

●塩谷広域行政組合議会
定例会
2月6日
・岡村 浩雅 議長
・大河原千晶 議員
・石岡 祐二 議員
・角田 憲治 議員

●さくら市水道料金審議
会
3月24日
・鈴木 恒充 議員
・角田 憲治 議員
・小堀 勇人 議員

監 査
●例月現金出納検査
3月25日
・福田 克之 議員
●定期監査
2月12日・3月3日・
13日・25日
・福田 克之 議員

視察等来訪
1月22日
福島県本宮市議会議会運営
委員会「オンライン委員会・
議会からの提言・提案等」に
ついて



2月18日
愛媛県大洲市議会自由ク
ラブ「バイオマス産業都市
構想」について



● 議会の動き

- 1月**
- 9日 議会広報広聴委員会
 - 10日 栃木SC新練習場お披露目会
 - 11日 第4回さくら市二十歳のつどい
 - 14日 さくら市中学生国際交流事業(アメリカ派遣)出発式
区長会賀詞交歓会
 - 15日 氏家商工会新春賀詞交歓会
 - 16日 議員全員協議会
議会運営委員会
臨時会
委員長会議
表彰審査委員会
 - 17日 こども絵画展表彰式
 - 18日 第21回さくら市武道大会
 - 19日 議員全体研修会(～20日)
 - 21日 喜連川新春のつどい
 - 22日 福島県本宮市議会視察来訪
 - 23日 議会広報広聴委員会
 - 24日 春の院展栃木展開幕式
 - 27日 関東市議会議長会支部長会議(～28日)
 - 29日 塩谷市町村議会議長会行政懇談会
 - 30日 子ども第三の居場所「ポーム」開所式・内覧会

- 2月**
- 17日 栃木県中央6市議長会議
 - 18日 愛媛県大洲市視察来訪
 - 22日 さくら市駅伝大会
お丸山フェス
 - 26日 第1回定例会開会
議員全員協議会
議会広報広聴委員会
第1回定例会一般質問
- 3月**
- 2日 第1回定例会一般質問
議会運営委員会
議員全員協議会
 - 3日 定期監査
 - 4日 文教厚生常任委員会
 - 5日 建設経済常任委員会
 - 6日 総務常任委員会
 - 7日 さくら市中学生国際交流事業(アメリカ派遣)帰国報告会
 - 9日 市立中学校卒業式
予算決算常任委員会(令和7年度補正予算)
 - 10日 予算決算常任委員会(文教厚生常任委員会所管)
 - 11日 予算決算常任委員会(建設経済常任委員会所管)
 - 12日 予算決算常任委員会(総務常任委員会所管)
 - 13日 定期監査
 - 14日 栃木日展作家展オープニングセレモニー
 - 15日 下野市市制施行20周年記念式典
 - 18日 第1回定例会閉会
議員全員協議会
議会運営委員会
議会活性化特別委員会
 - 19日 市立小学校卒業式
栃木県市町村総合事務組合3月定例会
 - 24日 さくら市水道料金審議
会
 - 25日 例月現金出納検査
定期監査
 - 26日 栃木県市議会議長会事務局長会議
 - 28日 スポーツ協会総会・研修会

- 2月**
- 3日 議会広報広聴委員会
栃木県市議会議長会職員実務研修
今宮神社節分祭
市立中学校立志式
全国市議会議長会理事会・全国市議会議員互助会議員会
 - 6日 塩谷広域行政組合議会定例会
 - 7日 氏家雛めぐり開会式
 - 9日 議員全員協議会
 - 10日 自治功労者表彰式
 - 11日 養徳園感謝の会
 - 12日 定期監査
 - 13日 議員全員協議会
議会運営委員会
県北五市議長会議

市民の声

響け！未来へ

Jr.ウインドハーモニーうじいえ

団長 飯島 満 (氏家・上町)



Jr.ウインドハーモニーうじいえは青少年育成支援と、さくら市の文化振興を目的に、2001年に発足した吹奏楽団です。経験豊かな指導者と、小学4年生から中高校生、保護者まで幅広い年齢層の団員で構成され、毎週、楽しく練習を行っています。レパートリーは、J-POP、クラシック、映画音楽、アニメソング、演歌など多岐にわたり、さくら市のさまざまなイベントやコンサートに出演し、吹奏楽で盛り上げています。毎年3月には、さくらっ子吹奏楽フェスティバルを主催し、好評を博しています。令和6年より、さくら市市民活動助成金交付団体として、子どもたちの吹奏楽の推進にも力を注いでいます。私たちがのような地道で継続性のある団体を、市議会の皆様の「市内外の配信力」で、ぜひ応援していただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。



《表紙写真》

Jr.ウインドハーモニーうじいえ

対象：小学4年生～中高生とその保護者
内容：吹奏楽の活動

(週1回の練習・市内イベント等への出演)

お問い合わせ：

jr.wind.harmony.ujjie@gmail.com

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体を募集しています。ご興味がある方はさくら市議会事務局までお問い合わせください。

☎028-681-1123 ✉ gikai@city.tochigi-sakura.lg.jp



お知らせ

次回

6月定例会予定 6月4日(木)～6月19日(金)

一般質問 6月5日・8日・9日

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。



さくら市議会ホームページ